

54 医療福祉相談の内容分析（平成22年度分）

管理部医事管理課医療相談室 茅根孝雄 飯塚真理 田代優子 下重敏子
自立支援局総合相談課 森 曜子

【背景と目的】

医療相談室では、入院・外来の患者様に対して社会資源の情報提供等を行う相談の他、他の医療機関等から当病院での入院治療等を希望する相談があった場合、担当科医師等と相談者の間の適切な情報交換を行い受診に繋げる等の支援を行っている。

一方、地域にある医療機関では、それぞれの機能に応じた役割を分担しつつ継続的かつ効果的な医療サービスの提供を可能するという医療連携の取り組みが求められてきており、当院においても例外ではない。

昨年度の業績発表では、平成21年度中に当相談室で転院等の相談を受けた方の内、脊髄損傷の入院リハを希望される方について、住所地、年齢、発症原因等についてとりまとめ発表したところであるが、今後の当院での地域医療連携体制等を具体的に検討するための基礎資料とするために、平成22年度中に転院等相談を受けた全ての内容について取りまとめて分析を行う。

【方法】

平成22年度中に電話等で相談があり、当相談室で相談受付票に記録のある1406件（高次脳機能障害関係255件、他の脳血管障害等324件、肢体不自由723件、他障害等104件）について、当該記録を基に、対象患者の性別、年齢、住所、入院中の医療機関名、障害原因、原疾患名、相談の主旨、対応内容等について新たにデータ化を図り、どこの地域の、どの医療機関から、どのような疾患の方の転院相談があるのか等について明らかにする予定である。

【結果】

結果については業績発表会当日に報告する。

それらのデータを基に、今後の地域医療連携について具体的にどのような取り組みが可能なのか等検討を行いたい。